

## 「第3次札幌市食育推進計画 進捗状況一覧」の説明

第3次札幌市食育推進計画に基づき、食育推進関係課の取組みについて説明します。

## 評価方法

目標が達成されたものは「◎」  
 目標値に向かって推移しているものは「○」  
 変化なし又は目標値から遠ざかっているものは「△」  
 評価できないものは「—」

## 評価一覧

|        | 令和元年度                  | 平成30年度      |
|--------|------------------------|-------------|
| ◎      | 117 (78.0%)            | 115 (76.6%) |
| ○      | 18 (12.0%)             | 13 (8.7%)   |
| △      | 9 (6.0%) → 11 (7.3%) ※ | 19 (12.7%)  |
| —      | 6 (4.0%) → 4 (2.7%) ※  | 3 (2.0%)    |
| 取組の項目数 | 150                    | 150         |

令和2年2～3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止（以下「コロナ」という。）のため、やむを得ず中止した事業があり、評価については、コロナによる中止等を考慮したものになっています。

全体的に目標に向かって順調に推移し、目標値に達していないものの、改善傾向にある項目が増えています。

※整理 No.40・No.92 の評価を「—」から「△」に変更しています。

「—」は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、「実施していない」「実施できなかった」場合の評価。整理 No.40・No.92 は、「—」に該当する事業ではなかったため、「△」に評価を変更しました。

9つの重点取組、それに紐づく19の主な施策の事業評価から、抜粋して説明します。

## 1～4ページ 基本目標1「健やかで心豊かな食生活の実現」に向けた取組み

### 整理番号1～21番 重点取組「健康寿命の延伸につながる食育の推進」

- 1番「早寝・早起き・朝ごはん推進事業」  
コロナにより教室開催を見合わせたため、中止しなければ平成30年度並み。
- 5番「手軽にできる朝食の普及啓発」、12番「主食・主菜・副菜をそろえる食事の啓発」、17・18番「野菜摂取強化の取組」については、昨年お配りした資料に加え、令和元年度に資料4「ママ&パパの“？”を解決！離乳食ガイド」を作成し、乳幼児健診などで啓発。
- 6番「減塩の啓発」  
平成30年度は啓発数、令和元年度は指導数で計上。  
本来指導数で計上するため、令和元年度から指導数に統一。
- 9番「よく噛んで食べることの重要性について啓発」  
令和元年度から取組みを強化した。
- 19番「野菜摂取強化の取組」  
コロナにより活動を中止したため、啓発が活動指標をやや下回っているが、中止しなければ目標値超え。
- 学校や保育園の給食を通して学校では、教科・特別活動などにおける「食」に関する指導の充実を図り望ましい食習慣の形成に努めている。また、給食だよりや給食試食会、さらにPTAと連携して保護者への啓発を図っている。

### 整理番号22～32番 重点取組「若い世代を中心とした食育の推進」

- 22番「仮称・食育男子プロジェクト」は、今後、実施予定。
- 25番「高校生のための食生活指針」  
市内各高校1年生を対象に配布。  
高校生のための食生活指針活用についてアンケート調査を実施。回答のあった高校で「配布した」と回答があり、授業（保健体育・家庭科）やホームルームで活用されていた。
- 27番「本気（まじ）めしプロジェクトの実施」  
コロナにより教室開催を見合わせたため、中止しなければ平成30年度並み。

### 整理番号 33～45 番 重点取組「多様な暮らしに対応した食育」

- 33～38 番は、学校、保育園、幼稚園での食事のマナーや楽しく食事をする大切さなどを啓発し「◎」。
- 39 番「共食の情報提供」の社会福祉協議会等が企画するお食事会の情報発信  
お食事会の実施予定がないため、計画から削除。

### **5～6 ページ 基本目標 2 「食の循環や環境・安全を意識した食生活」に向けた取組み**

#### 整理番号 46～55 番 重点取組「環境に配慮した食生活の推進」

食べ残しや昨年度に法制化された食品ロスについての取組み。

- 48 番「環境を考えた取組」や 49 番「生ごみのたい肥化」、50 番「さっぽろ学校給食フードリサイクル事業」での、リサイクル堆肥を使用した作物の提供は、全小中学校で行われており「◎」。
- 55 番「2510（ニコッと）スマイル宴」事業の啓発  
宴会料理の食べ残しを減らすことを目的に宴会等の際に開始後 25 分間と終了前 10 分間は、自分の席でしっかり食事を楽しむ取組みで「◎」。

#### 整理番号 56～75 番 重点取組「食の安全・安心の確保の推進」

- 58 番「離乳期講習会、母親教室等での啓発」  
コロナにより教室開催を見合わせたため、中止しなければ平成 30 年度並み。
- 60 番「さっぽろ子どもGメン体験事業」、61 番「子ども向け手洗い・うがいソングなどを活用した食育指導」  
子ども向けの体験型の取組みが行われていることが挙げられており「◎」。
- 62 番「食の安全や衛生についての啓発」  
食品表示や安全な給食提供について、食の安全への関心や理解を深めていただくため事業を実施し「◎」。
- 66 番「さっぽろ食の安全・安心推進協定」  
目標値から遠ざかっているが、目標達成に向けて、食品関係事業者への支援を行って  
いたため「○」。

#### 整理番号 76～85 番 重点取組「農業を身近に感じる都市環境の実現」

- 77 番「若い世代に対する『農』体験の啓発」  
コロナにより教室開催を見合わせたため、中止しなければ平成 30 年度並み。
- 81 番「『さっぽろとれたてっこ』認証農家数の増加」  
令和元年度から制度改正に伴い、評価できず「一」。
- 83 番「小学生の農業体験の実施」、84 番「保育所等の地産地消の取組」  
保育所、小学生や若い世代に対しては、農業にふれあう機会を増やし「◎」。

#### **7～10 ページ 基本目標 3「食文化の継承と食育推進体制の整備」に向けた取組み**

#### 整理番号 86～102 番 重点取組「食文化の継承と食環境整備」

- 100 番「生鮮食品等の旬や産地等の情報発信」  
ホームページやテレビ中継などで北海道産品を中心とした旬の生鮮食品情報を発信し「◎」。
- 102 番「災害時に対応する食生活の情報提供」  
令和元年度に資料 5「災害時における乳幼児栄養ガイド」を作成し、乳幼児健診や離乳期講習会などで啓発し「◎」。

#### 整理番号 103～107 番 重点取組「さっぽろ食スタイル」の推進

「栄養バランス」「地産地消」「環境に配慮した食生活」を提案することで、担当全課で取組み「◎」。

- 104 番「地産地消の啓発」は、担当全課で取組み「◎」。

#### 整理番号 108～130 番 重点取組「地域における食育推進体制整備」

- 116 番「野菜の日、栄養の日、食育の日」  
毎月 1 日を野菜の日、4 日を栄養の日、19 日を食育の日として、給食だより等で啓発するなど、食生活を見直す機会を設けており、担当全課で実施し「◎」。
- 117 番「食生活改善推進員協議会が進める食育事業」  
コロナにより、教室開催を見合わせたため、中止しなければ平成 30 年度並み。
- 119 番「食育サポート企業等登録」は、増減により、結果変化なし。
- 121 番「糖尿病対策会議、事業省給食研修会等の開催」  
コロナのため、3 月の研修会を中止し、2 回の開催。
- 130 番「食育学生ボランティアの活動支援」は、今後、取組む予定のため「△」。